

カリカリとんぼ

2026.1.19

島田祥生

振動がプロペラを回します

割りばし（とは限りません、棒であればなんでも）に凸凹を付けて、棒の端に真ん中に穴のあいた長方形の薄い板（プロペラ）をピンでとめます。

凸凹部分をこすって割りばしを振動させると、先に付けたプロペラが回ります。名付けて

「カリカリとんぼ」

どうも、こすり方にコツがあるようで、小さな子があつという間に回せたり、回せない人は、本当に回せないシロモノです。



割りばしに凸凹をつける

今回は割りばしを使ったものを紹介します。割りばしの表面に凸凹を付けます。切り込みを入れてもいいのですが、手間がかかりますので、1mmのアルミ線を巻くつけるのが簡単。

もっと簡単なのは、6mmのストローのジャバラ部分をはめ込む方法。意外とぴったりはまります。ほかにも簡単な方法があるようです。探してみてください。

今回の工作

材料 :

- ・割りばし
- ・Φ6ストロー
- ・厚さ0.3mmほどのプラ板
- ・ゼムクリップまたは
1mmのアルミワイヤー
- ・柄がプラスチックの綿棒
- ・セロテープ

工具 :

- ・ハサミ
- ・千枚通し
- ・ラジペン

作り方

①プロペラ :

- ・プラ板を1×3cmに切れます
- ・真ん中に、ワイヤーが通る穴をます
大きすぎると回りません

②振動スティック :

- ・割りばしを割ります
- ・ストローのジャバラを切り離します
- ・ジャバラを割りばしにはめ込みます

③プロペラ軸

- ・ゼムクリップをまっすぐにして
スティックにセロテープで止めます
- ・綿棒の柄を短く切って差し込みます

④プロペラ取り付け

- ・プロペラを軸に差し込みます
- ・長めの綿棒の柄を差し込みます
- ・軸の先を曲げます

出来上がり！

プロペラを作ります

厚さが0.3程度のプラバン（クリアファイルの表紙など）を幅1cm長さ4cmくらいに切り真ん中に穴を開けます。穴は大きすぎては振動が伝わらないので、適度の大きさに。



プロペラの軸を決めます

軸は、割りばしに巻いたアルミワイヤー、ゼムクリップ、プッシュピンなど、身近なものを使います。



割りばしに取り付ける

セロタapeで止めてもいいし、割りばしの先に穴をあけて差し込んでも、振動が伝わればいいのです。



プロペラを受けるパート

ビーズ、綿棒の軸など、プロペラが良く回り、抜けないような材料を探します。先を丸めてもいいですね。

割りばしが梢円振動をしてプロペラを回します。

回し方

- ・割りばしの根元を
軽く持ちます
- ・爪でジャバラを
こります
- ・こすり方に工夫が
要るかも知れません
- ・右回転になるか
左に回るかは
こすり方次第・・・
らしいデス